

研修レポート 豊橋市民病院

この度は4週間という短い期間でしたが、地域研修という大変貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

新城市民病院での研修では、主に総合診療科の初診外来を担当させて頂きました。普段の研修では、救急外来や入院管理、各種手技をメインに行っており、緊急性の判断をし、各科に振り分けることや、入院が必要な患者の治療を行っていました。しかし総合診療科では、入院の必要はない、緊急性の低い疾患に対して主訴の改善や患者背景を踏まえた診療をさせて頂きました。後日追加の検査や、経過観察とした患者のフォローも担当させて頂き、自分のアセスメントが正しかったのかを自分の目で確認できる機会を得ることができました。また、診察の度に上級医の先生にフィードバックを頂き、夕方にはカンファレンスで初診患者全ての振り返りをし、自分が確認していなかった身体所見などご指導いただくことができ、所見の取り方を深く学ぶことができました。

また、診察だけではなく、他職種カンファレンスや朝の勉強会、論文の勉強会など多くの経験をさせて頂きました。

他職種カンファレンスでは、看護師、理学療法士、MSWといった他職種の方々と入院患者のゴール設定や現在の状態の把握などを行い、医学的なゴールだけでなく、生活環境に即したゴールを考えていくことを学びました。

朝の勉強会では、普段の勉強会で学ぶような救急という目線ではなく、総合診療という目線からみた知識を数多く学ぶことができ、救急診療でも活かしていきたいと思いました。

論文の勉強会ではEBM勉強会という名のもとに東京で開業していらっしゃる先生と遠隔で論文の読み方を教えて頂きました。各々の値の解釈の仕方や、有意差に振り回されないように論文を読むこと、良い論文とそうでない論文の見分け方などこれから論文を参考に医療を行っていく上で重要な事を学ぶことができました。専門分野に進み論文から情報を集めようと思った際に必ず役に立つ非常に学びのある時間でした。

訪問診療では、癌の終末期で寝たきりの方のもとに診療に行かせて頂きました。最後の時間を自宅で過ごしている方と家族に寄り添う診療の重要性を学ぶことができた研修でした。

COVID-19のクラスターにより残念ながら作出診療所での研修は行えなかったことが悔やまれますが、充実した地域研修を行うことができました。

お忙しい中、熱心にご指導頂き、本当にありがとうございました。この研修で学んだことを活かしてこれからの診療をしていきたいと思えます。